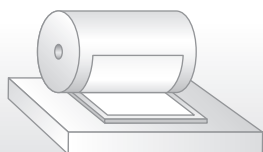


圧力測定  
フィルム プレスケール 活用事例

[No.20]

## 測定対象



フィルム貼付装置

## 目的

フィルム貼付装置の  
均等圧確認

## 成果

品質向上

不良低減

調整時間短縮

## 業種

タッチパネルメーカー・液晶パネルメーカー

## 対象製品例

スマートフォン  
タブレット端末

## 用途

カバーガラスやタッチパネル等へ機能性フィルム(OCA、AG、AR、偏光板等)を貼り付ける際のドラム(ローラー)圧の均一性をチェック

## 課題

カバーガラス上へOCAなどの機能性フィルムを貼り付けるには、まずドラム上の吸着パッドに機能性フィルムを吸着貼付させ、その後、ドラムを回転させることでその下にあるステージとの間の圧力で機能性フィルムとカバーガラスとを接着させる。この際に圧力バランスが不良であった場合には、気泡が発生したり、シワや貼りズレ等の不具合が発生する。

## 測定

## 使用製品: プレスケール(極超低圧用LLLW、微圧用4LW)

プレスケールをカバーガラスとドラムとの間に挟み、通常の条件で加圧。プレスケールを取り出して発色状態を判定。ステージとドラムがバランス良く設置されているか、ドラム上の異物付きや削れなどがないかについて簡便に確認することができる。

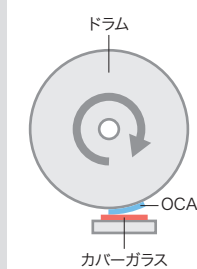
## ■フィルム貼付装置



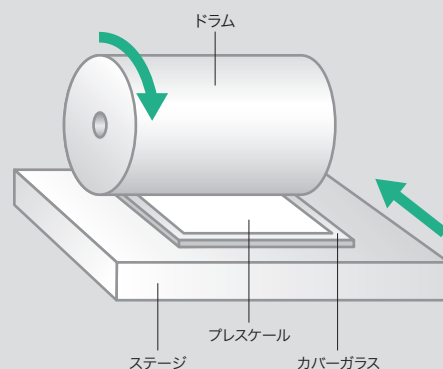
OCA貼合せ装置

写真提供: 株式会社FUK 様

## ■貼付部



## ■プレスケールによる圧力分布測定



## 結果 (イメージ)

### 【不良】

圧力が不均一にかかっている。



### 【正常】

圧力バランスが均一で良好な結果である。



## 導入効果

### ● 品質ロス効果

品質異常を未然に防ぎ、歩留まりが向上。

### ● 時間ロス効果

設計時やメンテナンス時のあたりの均一性確認を短時間でできる。

#### プレスケールを使わない場合

貼り付け結果から推定するしかなく、試行錯誤を繰り返しての調整となる。**材料ロス**や**設計調整の時間ロスが発生する。**

#### プレスケールを使用した場合

圧力分布を実際の使用条件で確認可能。  
圧力の均一性を未然に確認することで、**品質向上と設計調整時間短縮を実現。**

プレスケールの詳細は ▶▶▶ <http://fujifilm.jp/prescale/>

※本カタログに記載の仕様および性能は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。使用している画像はイメージであり、実際に測定したものと異なります。

富士フイルム株式会社

産業機材事業部／〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

Email [prescale-info@fujifilm.co.jp](mailto:prescale-info@fujifilm.co.jp)

URL <http://fujifilm.jp/business/material/prescale/index.html>

<https://fujifilm.jp/business/material/prescale/promotion/index.html>